



*IHE-Jコネクタソン2009 ベンダワークショップ*  
*2009/05/22*

## 臨床検査部門

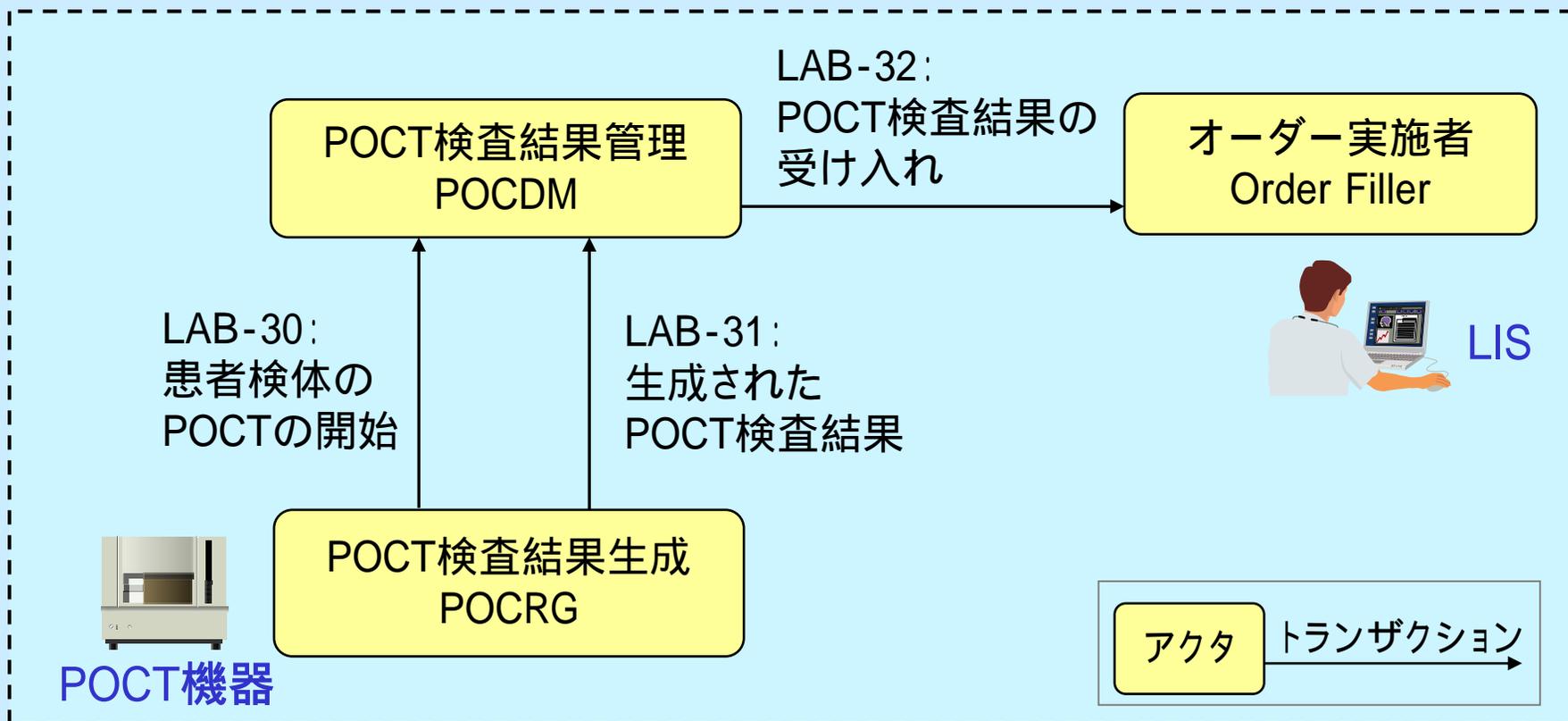
LPOCT 臨床検査のPOCT

LCSD 臨床検査コードの更新

日本IHE協会 接続検証委員会

# LPOCT 臨床検査のPOCT

臨床検査室の監督下においてベッドサイドや緊急の現場で実施されるPOCT(診療現場即時検査)のワークフローに適用される



# LPOCT アクタ

## ・POCT検査結果生成 (POCRG: Point Of Care Result Generator)

検体を測定し自動的または手入力、計算などにより結果を生成する。  
生成した結果やQCデータをPOCDMへ送信する。

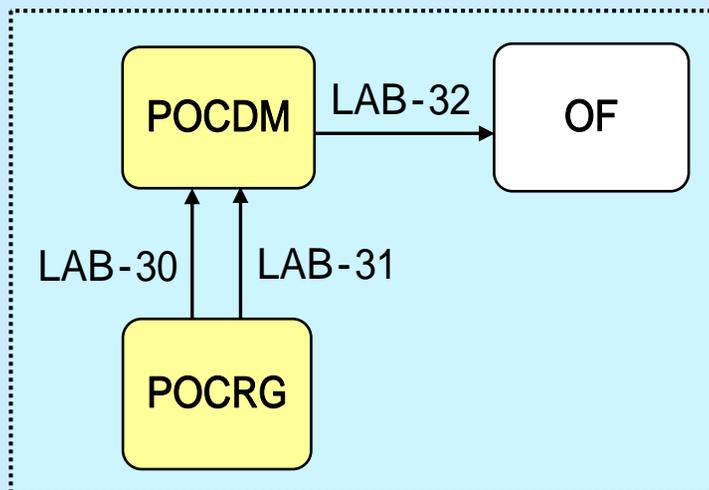
## ・POCT検査結果管理 (POCDM: Point Of Care Data Manager)

POCRGから結果を受信し、中央管理する。  
受信した結果について技術的検証を行い、OFへ転送する。  
POCRGの精度管理を監督する。

## ・オーダー実施者 (OF: Order Filler)

追加定義

POCDMから結果を受信し、オーダーと照合する。  
POCT検査結果について臨床的検証を実施する。



# LPOCT トランザクション

## ・LAB-30: 患者検体のPOCTの開始

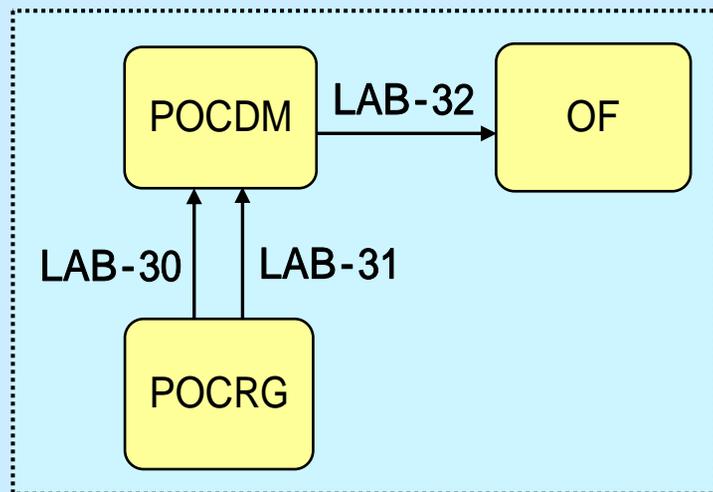
POCRGは、オペレータID、患者IDなどの検査開始に関する情報をPOCDMへ送信する。  
POCDMは、オペレータを認識し、患者認証を確認する。

## ・LAB-31: 生成されたPOCT検査結果

POCRGは、POCT検査結果をPOCDMへ送信する。  
POCDMは、受信した検査結果を検証し、保存する。

## ・LAB-32: POCT検査結果の受け入れ

POCDMは、患者情報を伴う検査結果をOFへ送信する。

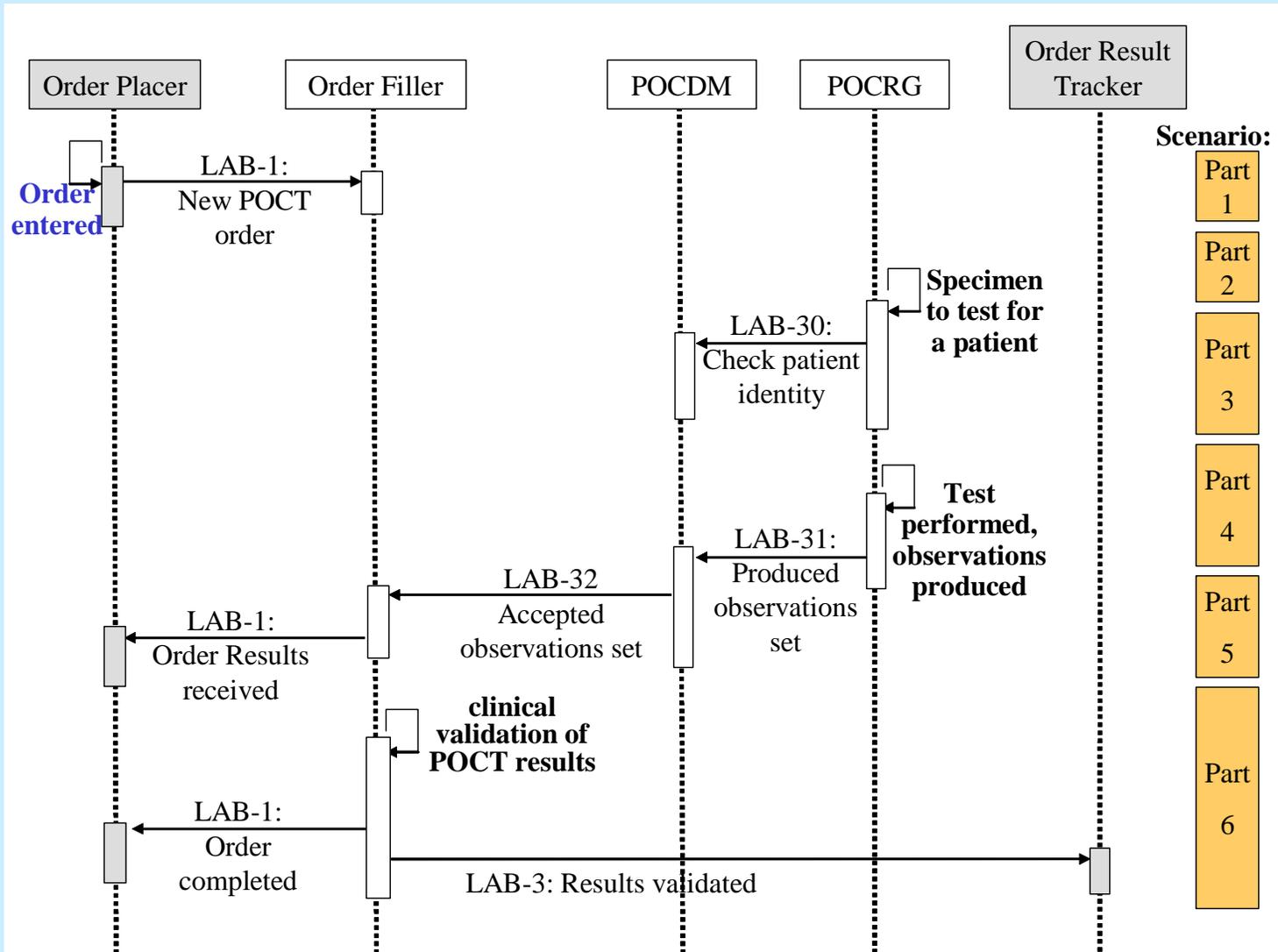


# LPOCT ユースケース

No.	項目		トランザクション
1	患者認証を伴う 検査結果と既存オーダとの同定	リアルタイムに患者を同定する。 POCRGとPOCDM間は常時接続とする。	LAB-30 LAB-31 LAB-32
2	患者認証を伴う オーダ未作成の検査の実施	オーダ作成前に検査を実施する。 OFが検査結果を受け取り、自動的にオーダが生成される。	LAB-30 LAB-31 LAB-32
3	オフラインにて測定、 後で接続し結果送信	POCRGとPOCDM間は必要に応じて接続する。	LAB-31 LAB-32
4	検査結果手入力	検査結果を手入力しLISに送信する。	LAB-32
5	POCRGの精度管理	精度管理検体を測定し、結果をPOCDMに送信する。	LAB-31

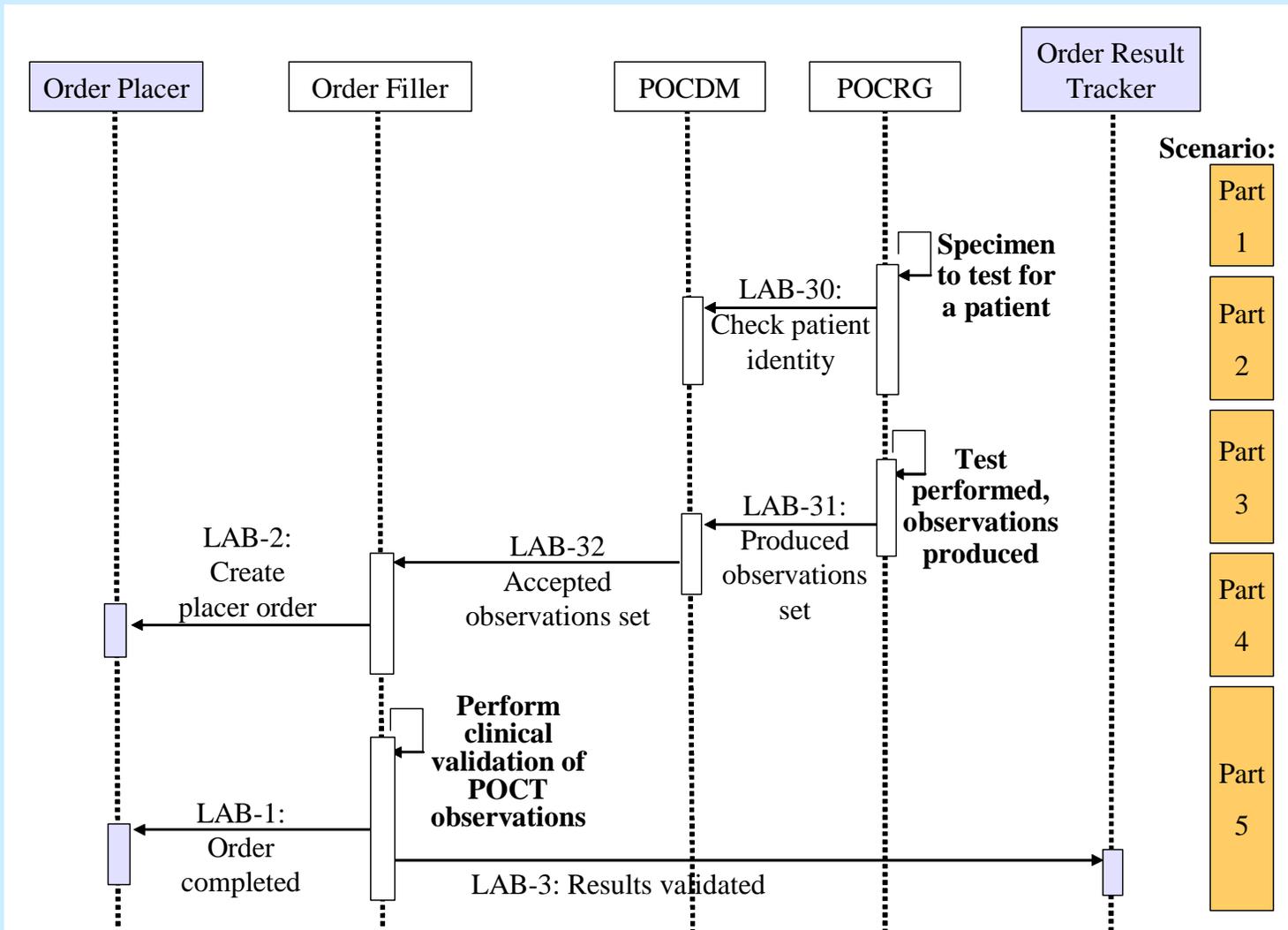
# LPOCT プロセスフロー例 (ユースケース 項目1)

## 項目1: 患者認証を伴う検査結果と既存オーダとの同定



# LPOCT プロセスフロー例 (ユースケース 項目2)

## 項目2: 患者認証を伴うオーダ未作成の検査の実施



# LPOCT コネクタソン2008 テスト実績

- ・テストシナリオ ユースケース2(患者認証を伴うオーダ未作成の検査の実施)
  - ・対象アクタ POCDM , OF
  - ・対象トランザクション LAB-32(POCT検査結果の受け入れ)
- POCDMからOFへ、患者情報を伴う検査結果を送信する。

No.	項目		トランザクション
2	患者認証を伴う オーダ未作成の検査の実施	オーダ作成前に検査を実施する。 OFが検査結果を受け取り、自動的にオーダが生成される。	LAB-30 LAB-31 <b>LAB-32</b>

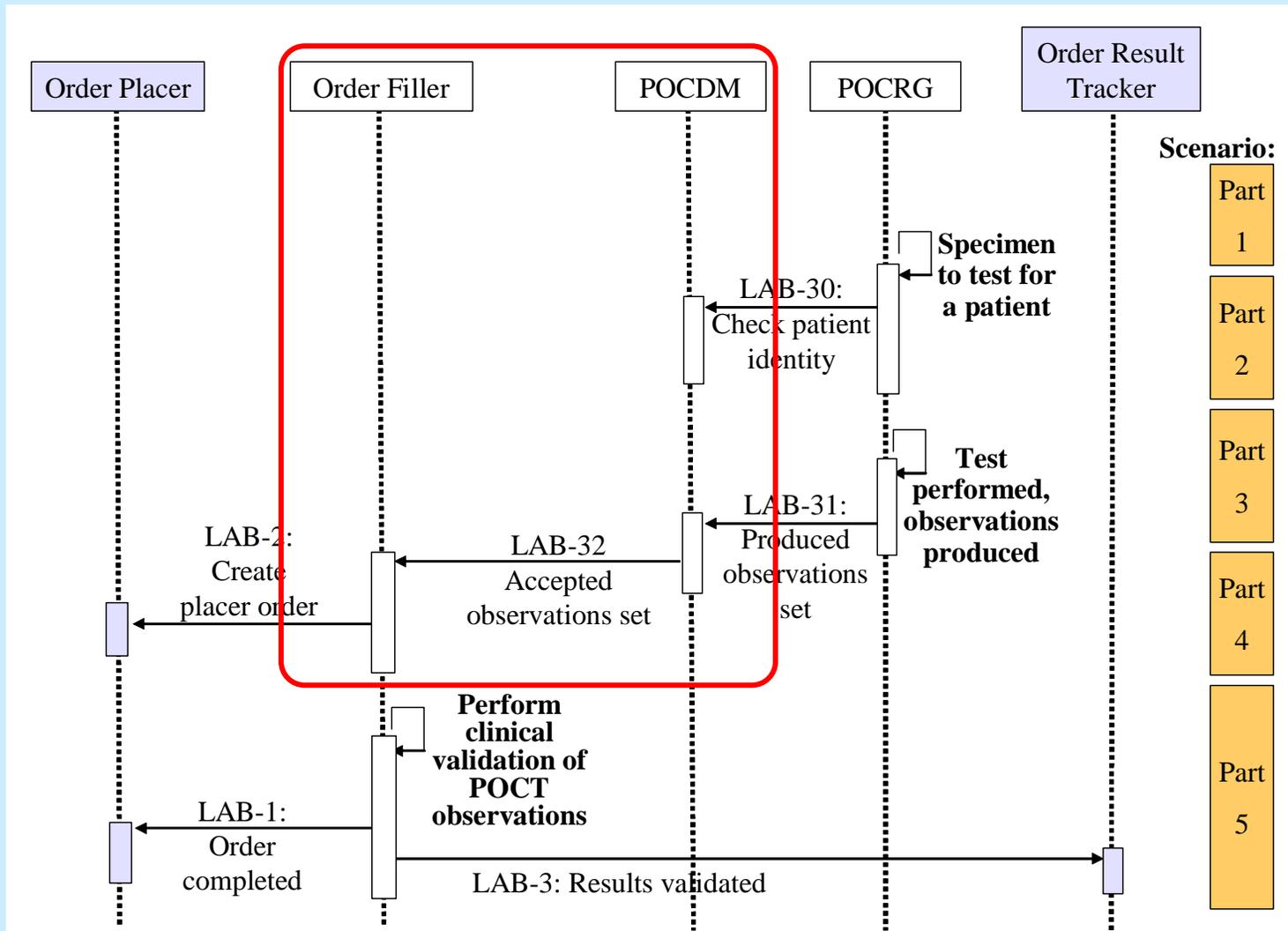
## ・コネクタソン2008結果

[参加システム] POCDM:1社, OF:2社

予定された全ての組み合わせで合格

# LPOCT コネクタソン2008 テスト実績

## プロセスフロー ユースケース項目2: 患者認証を伴うオーダ未作成の検査の実施



# LPOCT 仕様書

IHE Technical Framework Supplement Profile for Public Comment (June 15 to July 15)

GMSIH, HL7 France H', HL7 Netherland, IHE-J and  
JAHIS  
Integrating the Healthcare Enterprise

IHE 臨床検査  
テクニカルフレームワーク  
付録 2004-2005

臨床検査の診療現場即時検査  
Laboratory Point Of Care Testing  
(LPOCT)

<パブリックコメント版>  
<コメント期限 July 15, 2005>

## LPOCTプロフィール 和訳

パブリックコメント版の和訳をIHE-J HP上で公開中

<http://www.ihe-j.org/news/clinic/index.html>

こちらは最新版の理解の補助としてご利用ください。

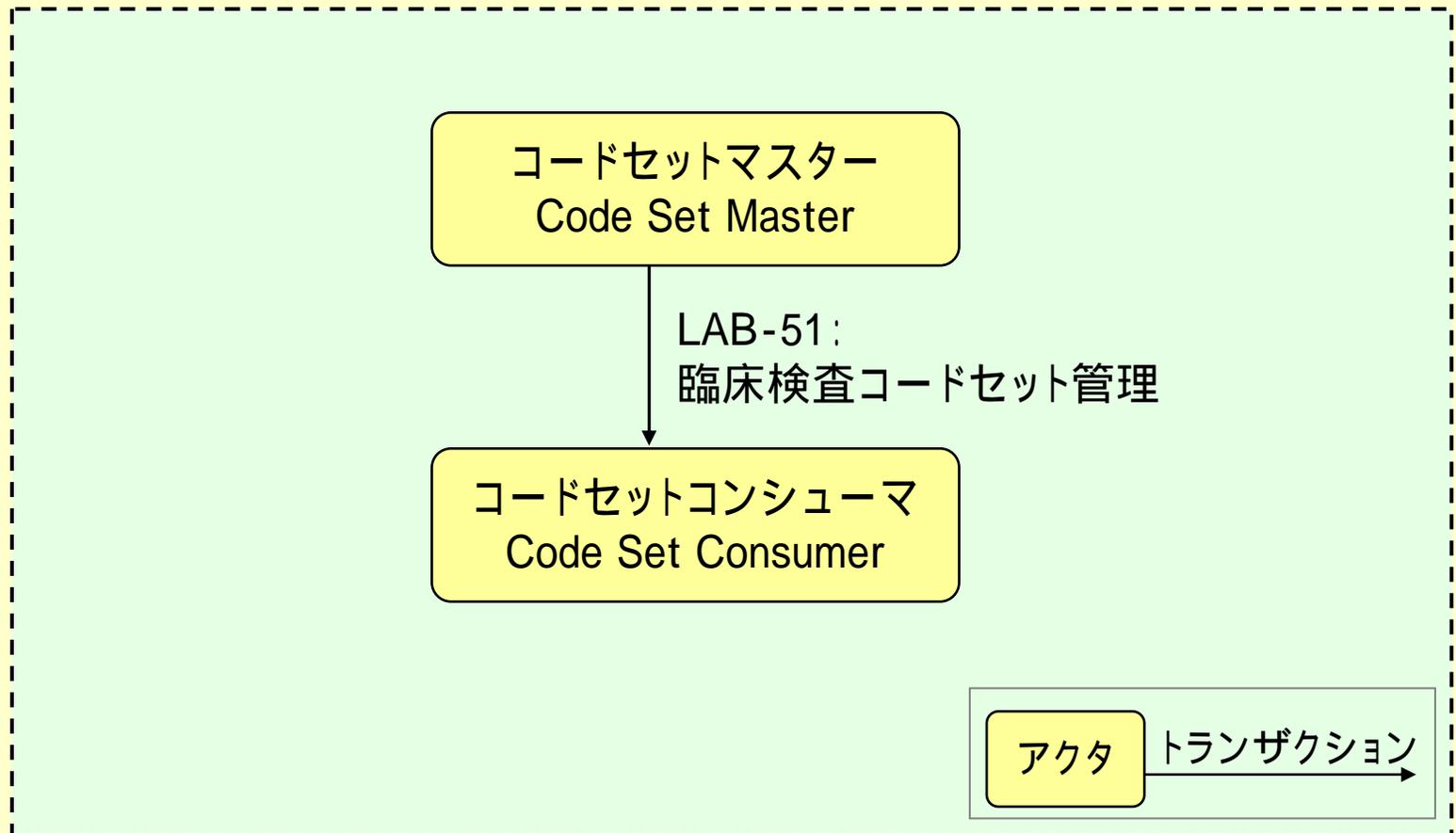
## ・テクニカルフレームワーク最新版はこちら

Laboratory Technical Framework Rev.2.1 (2008/08公開)

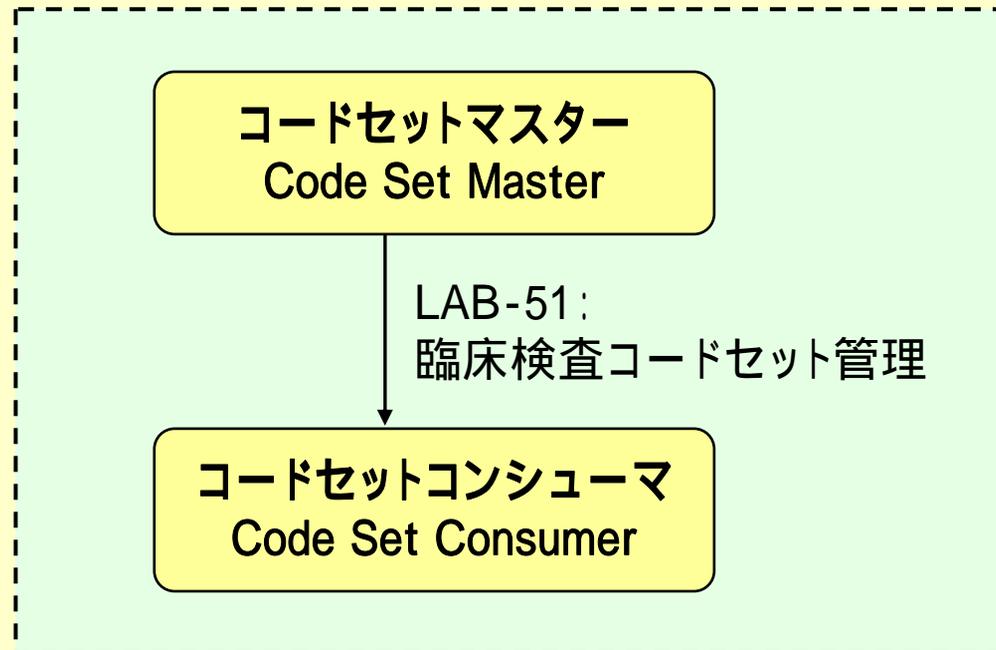
[http://www.ihe.net/Technical\\_Framework/index.cfm#laboratory](http://www.ihe.net/Technical_Framework/index.cfm#laboratory)

# LCSD 臨床検査コードの更新

異なるアクタ、システム間で、共通した検査コードを使うための更新フローに適用される

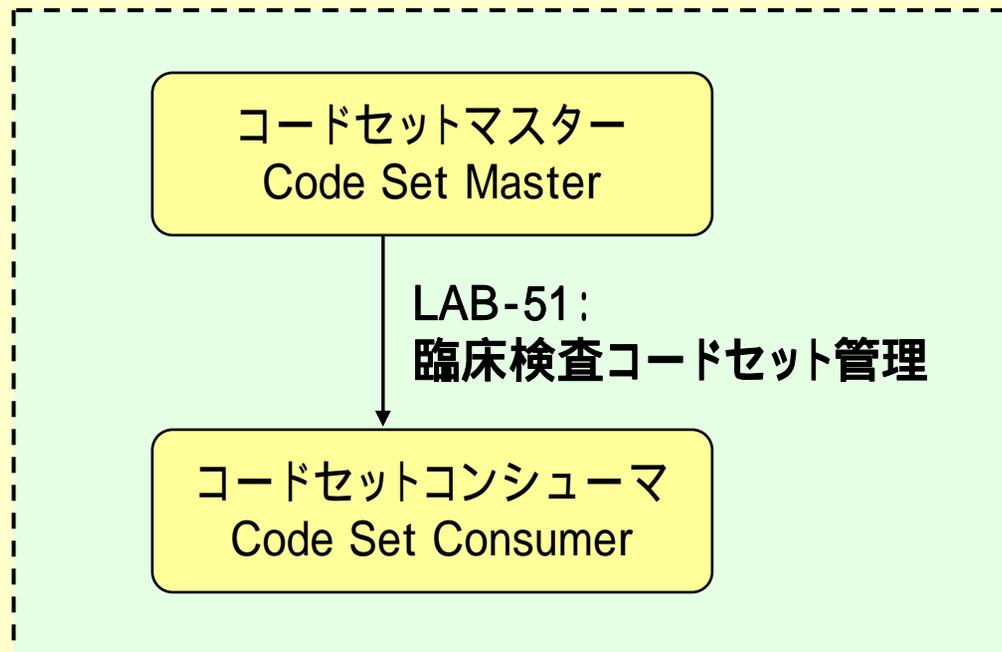


- ・**コードセットマスター (Code Set Master)**  
コードセットを所有し、保守責任を負う。  
コードセットコンシューマへコードセットを送信する。
- ・**コードセットコンシューマ (Code Set Consumer)**  
コードセットマスターからコードセットを受信し、  
内部のコードセットテーブルを更新する。



## ・LAB-51: 臨床検査コードセット管理

コードセットマスターは、更新されたコードセットをコードセットコンシューマへ配信する。



# LCSD ユースケース

N O.	項目		トランザクション
1	全てのコードセットを送信	コードセット全体が予約しているシステムに送信される。	LAB-51
2	変更分のコードセットを送信	変更されたコードセットのみ送信される。 詳細は未定	-
3	未知コード受信に対するコードセットマスターへの問合せ	未知コード受信に際し、コードセットコンシューマはコードに関する完全な詳細をコードセットマスターに問い合わせる。 詳細は未定	-

GMSIH, HL7 France H', HL7 Germany, IHE-J, JAHIS, SFIL, IHE Italy

Integrating the Healthcare Enterprise

**IHE 臨床検査**  
テクニカルフレームワーク  
付録 2005-2006

臨床検査コードの更新  
統合プロファイル  
**Laboratory Code Set Distribution**  
(LCSD)

2005年10月10日

トライアル・インプレメンテーション用ドラフト版  
(2006年6月14日 翻訳版)

Copyright © 2005, GMSIH / HL7 France H' / HL7 Germany / IHE J / JAHIS / SFIL / IHE Italy

## LCSDプロファイル 和訳

パブリックコメント版の和訳をIHE-J HP上で公開中

<http://www.ihe-j.org/news/clinic/index.html>

こちらは最新版の理解の補助としてご利用ください。

## ・テクニカルフレームワーク最新版はこちら

Laboratory Technical Framework Rev.2.1 (2008/08公開)

[http://www.ihe.net/Technical\\_Framework/index.cfm#laboratory](http://www.ihe.net/Technical_Framework/index.cfm#laboratory)



ご清聴ありがとうございました。